

みなみ風

夢をはぐくみ 心豊かにたくましく生きる 中南っ子

「当たり前のことを当たり前でできるようになる」 「当たり前のことを徹底してやりきる」【凡事徹底】



昨年度から「当たり前のことを当たり前でできるようになろう!」という合い言葉のもと「凡事徹底」取組を行ってきました。今年度も引き続き徹底して行っていきます。

経営の神様、パナソニック創業者松下幸之助氏は、取引先の企業を訪問された時、経営がうまくいっているかどうかを瞬時に見抜かれたというエピソードが残っています。その見抜かれた視点がとても単純なものでした。

1つ目は、従業員の「あいさつ」

2つ目は、職場の「整理・整とん」

3つ目は、トイレなどの「掃除」 だったそうです。

「あいさつ」を交わすことで、コミュニケーションの輪が広がります。整理・整とんをすることで、すがすがしい気持ちになり、学習や仕事の効率が上がります。また、トイレなど職場を美しくすることにより心が磨かれます。つまり、当たり前なのが当たり前でできるかで、その店の経営が分かるというものでした。

この「凡事徹底」は、学校生活を送る上でもとても参考になる考え方です。当たり前なことでも長い間やり続けていくことで、自分を成長させていくことができるのです。「繰り返しやり続けること」が重要なのです。

しかし、「三日坊主」という言葉もあるとおり、物事を徹底して続けるということは難しいことです。「少しぐらい手を抜いても」「今回はできなくても仕方ない」「みんなもやっていないし」など、いろいろな言い訳が邪魔をして、成長の機会や可能性を奪うことも多くあります。

私たち教職員も「凡事徹底: 当たり前のことを当たり前で徹底して行うこと」の大切さを子どもたちに理解してもらうために、自らが模範となるように努力していきたいと思えます。

今週から、中南小では、さわやかなあいさつ、しずかならうか、すばやい行動、せっせと掃除、そろった靴やランドセル、「凡事徹底のさしすせそ」を合い言葉として「あいさつの励行」「静かに廊下歩行」「時間を守る」「掃除の徹底」「靴箱や担当箱、机の中の整理整頓」という「凡事徹底」を全校で取り組んでいきます。それぞれのご家庭でも、「我が家における『当たり前』とは何か」について話題にさせていただき、ご家庭での『当たり前』をお子様実践できるようご支援いただければ幸いです。

凡事徹底の

- さわやかなあいさつと返事 (挨拶の励行)
- しずかならうか (しずかに廊下を歩行)
- すばやい行動 (時間を守る)
- せっせと掃除 (掃除の徹底「無言掃除の徹底」)
- そろった靴とランドセル (整理・整頓)

さしすせそ

